

TOPICS

英語版くすりのしおり®

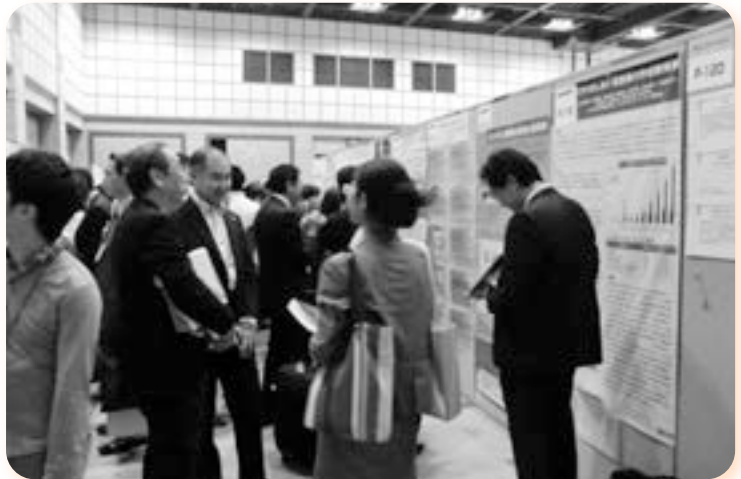
～現場の先生方からたくさんのご意見をいただきました～

第45回 日本薬剤師会学術大会 ポスター発表

くすりのしおりコンコダンス委員会 栗原 理

前号Vol.23, No.3にて紹介した第15回日本医薬品情報学会学術大会での発表に続き、2012年10月7～8日に開催された第45回日本薬剤師会学術大会(会場:アクトシティ浜松他)において、英語版くすりのしおり®に関するポスター発表を行いました。この学術大会は参加される薬剤師の先生方の数も約7,500名と非常に多く、次から次へと足を止めて閲覧していただけたので、医療現場での貴重なご意見を伺うことができました。

※発表内容はRAD-AR News Vol.23 No.3
＜Webリンク1＞をご参照下さい



約2,000品目の掲載に驚きの声も！

ポスター発表会場で先生方と意見交換をしていると、日本語版くすりのしおり®はかなり浸透していることが伺えました。一方、英語版くすりのしおり®は日本語版ほどではなく、ポスター発表で、約2,000品目の英語版くすりのしおり®が掲載されていることも併せて紹介すると、「そんなにあるのですか」と驚嘆の声があげられました。当学術大会で発表した意義は大きなものでした。

また、英語版くすりのしおり®の存在は知っていても、「どこから探せば良いのか分からない」とのご意見もありましたので、会場では実際にWeb上でデモンストレーションを行い、協議会のサイト＜Webリンク2＞からのアクセス方法を紹介しました。

患者さんが渡航時に使用するケースが多い

逆にこちらから実際の臨床現場で英語版が必要になる状況をお聞きすると、外国人の患者さんだけでなく、「海外に行く際に英語で説明された医薬品の情報が必要」という患者さんのニーズもやはり多いようです。

これは、「英語資料使用理由のほとんどは患者の渡航」という発表の内容を裏付ける形となりました。今までは英語で書かれている様々な資料を繋ぎ合わせながら患者さんへの情報提供をしていたケースもあるそうで、「くすりのしおり®」のようにまとまった英語資料は助かるということです。また、吸入剤や点鼻剤などは、特殊な使用法を英語で説明するのが難しいので、重宝するとの意見もありました。

今後の課題

医療現場での英語版くすりのしおり®のニーズが渡航目的に重きが置かれているのであれば、汎用されている医薬品の英語版カバー率を上げることが重要であると当委員会では考えています。また、「欲しい時に見つけにくい」という意見がありましたので、協議会のHPを工夫するなどWeb上での提供方法についても検討していきたいと考えています。

このような点を踏まえ、今後も“くすりのしおりクラブ”の皆様の協力をいただきながら、英語版くすりのしおり®の充実を図っていきます。

Webリンク1 http://www.rad-ar.or.jp/03/03_news/03_news_index.html

Webリンク2 <http://www.rad-ar.or.jp/siori/english/>